

第90回メーデー北海道集会

平和と生活 地域を守ろう

第90回メーデー北海道集会が5月1日、札幌市・大通西8丁目で開かれ3,000人が参加しました。大通公園でのメーデー集会は、道労連結成後は初めてです。

集会では、三上友衛実行委員長（道労連議長）が「安倍『働かせ方改悪』で8時間労働の破壊を狙っている。平和と生活、地域を守るために労働者が先頭に立ってたたかおう」とあいさつし、参加者代表がそれぞれの要求について40秒スピーチで訴えました。集会後、2コースに分かれて札幌市内をデモ行進しました。



建交労のデモの隊列の先頭には札幌合同支部
リヴィノールシステム分会の若い組合員が

知事と札幌市長に「全国統一要求書」を提出

道本部は4月26日、鈴木直道北海道知事と秋元克広札幌市長に「2019年春闘建交労全国統一要求書」提出しました。要求書では、①雇用・失業対策の強化、②高齢者の雇用・就業機会の拡大、③防災・生活・環境保全優先、維持・補修を重視した公共事業の拡大、④公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保、⑤建設労働者の賃金・労働条件の改善、⑥季節労働者対策の強化、⑦じん肺・アスベスト被害の防止と補償の拡充などを求めています。

北海道交運共闘が第7回総会

4月24日、北海道交通運輸労働組合共闘会議（北海道交運共闘）の第7回定期総会が開かれ、役員・代議員・傍聴者18人が参加しました。三上議長はあいさつで「北海道知事には『攻めの廃線』と線路をなくした鈴木直道・前夕張市長が当選した。北の鉄路を守るたたかいに北海道交運共闘としてもとりくみを強める必要がある。安倍首相は9条改憲に執念を燃やしているが、改憲を発議させないたたかいが重要だ。交通運輸労働者の要求を実現するためにも、夏の参議院選挙で安倍政権を退陣に追い込むために全力をあげよう」と訴えました。昨年に続いて、産業別最低賃金の引き上げなどを求めて全国港湾（全国港湾労働組合連合会）規模で連続したストライキで春闘をたたかっている北海道検数労連から連帯のあいさつを受けました。

提案された運動方針では「民間と公務の労働組合が力を合わせて、行政や社会的にも影響力を広げるために、要求を基礎に職場・地域からたたかいをすすめ、安全・安心の交通運輸産業をめざして、労働者・道民との共同で政治の民主的転換をめざす」ことが強調されました。討論では、建交労北海道トラック部会の石塚さん、北海道鉄道本部の最上さん、札幌ダンプ支部の稲葉さんが発言しました。新年度役員には、副議長に道本部の森国委員長、事務局次長に俵書記長、幹事にトラック部会の佐藤部会長、鉄道本部の竹田委員長が選出されました。